



2022年(令和4年)8月オホーツク管内倒産集計

2022年9月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

今年7回目の発生ゼロ 累計件数・負債額ともに過去最低

2か月連続で発生ゼロ

■前月比	件数	同数(2022年7月)	0件)
	負債総額	同数(〃	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	同数(2021年8月)	0件)
	負債総額	同数(〃	0円)

2022年8月の発生状況

2022年8月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生がゼロだった。前月及び前年同月ともに発生ゼロであったため、比較すると件数、負債総額いずれも同数となった。

過去5年間の8月の発生状況を見てみると2021年を除いた4年で各1件の発生となっており、平均発生件数は0.8件、同負債総額が6,080万円。今年は前年に続いて発生は無く、月間発生ゼロは2か月連続で、今年7回目となった。

2022年1～8月の発生累計

今年1～8月の累計発生件数は1件、負債総額で2,356万円。前年同期間と比較すると件数で7件の減少、負債総額では7億9,744万円の大幅な減となっている。

過去5年間の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は10.8件、同負債総額は9億5,598万円。今年はすでに8か月が経過しているものの、発生は1件に止まっているなど抑制状態が続いており、当社が集計を取り始めた1966年以来、最少の件数、負債総額で推移している。

過去5年間と今年1～8月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2017年	16件	6億8,000万円
2018年	11件	12億2,500万円
2019年	10件	7億3,590万円
2020年	9件	13億1,800万円
2021年	8件	8億2,100万円
2022年	1件	2,356万円

今後の見通しと問題点

今年の倒産発生状況を見ると、これまでの累計件数は1件に止まるなど過去最少で推移している。しかし、水面下ではコロナ融資などで何とか業態を維持してきたものの、長引くコロナ禍で業績は以前の水準に戻らず、膨張した借入金を抱えて苦戦。これから返済開始を迎える企業も多いため、返済に苦慮して事業継続を断念する企業が出てくる懸念がある。加えてウクライナ情勢や円安にともなう原油、原材料等の高騰による商品値上げの拡大が今後も続く見通しにあり、個人消費回復の足かせとなる可能性もある一方、人手不足問題も再燃しているなど経営を圧迫する新たな問題も発生しており、先行きに不透明感が増しているため、今後倒産は増加を辿る可能性が高まっている。

